

7・16代々木公園へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年6月18日
No.33

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/



17日、福井中央公園で「いのちが大事。なぜ今再稼働?つながろう福井集会」が2200人で打ち抜かれた。集会に参加した学生、労働者に16日の再稼働決定に対する絶望や諦めは全くない。それどころか中嶋哲演さん、鎌田慧さんのアピールに続く約80本の一分間アピールで語られたのは、「野田は絶対に許せない」という非和解的な怒りであり、「再稼働を絶対に止める」という決意だ。この集会を盛り上げ牽引したのは富山大、京都大生でありNAZENだ。前段集会から学生、NAZEN、労働者のアピールは6・17集会を企画した福井県の若者が写真、

動画を撮るほど大注目された。本集会の一分間アピールも7・16集会への大結集を呼びかけた富大生、NAZEN北陸のアピールは全体に具体的展望を与え、大いに集会を牽引した。NAZENの開放的なデモには多くの青年が飛び入り参加した。

大飯原発の本格的な再稼働まで1ヶ月から6週間。次の焦点は7・16代々木反原発10万人集会であり、10万人の圧倒的大結集の力が再稼働を止める力になる。全国の学生はキャンパスから原発再稼働を止める巨万の学生の決起を組織しよう!(富山大・N)

7・16 さようなら原発 10万人集会

再稼働阻止! 被曝労働反対! すべての原発いまずぐなくそう!

◆7月16日(月・祝) 13時~

◆東京・代々木公園にて

※12時半からオープニング・コンサート、13時半からデモ出発
※会場へは、JR原宿駅より徒歩5分、同渋谷駅より徒歩10分

【呼びかけ】 さようなら原発1000万人アクション

<内橋克人、大江健三郎、落合恵子、鎌田慧、坂本龍一、

澤地久枝、瀬戸内寂聴、辻井喬、鶴見俊輔>



「オスプレイ配備やめる！」



沖縄で5200人の怒り爆発！

6月17日、「普天間飛行場へのオスプレイ配備に反対し、固定化を許さず早期閉鎖・返還を求める宜野湾市民大会」が、宜野湾海浜公園・野外劇場で開催され、30度を超す炎天下、会場から溢れる5200名が大結集しました！

オスプレイは4月モロッコでの墜落死傷事故に続き、わずか3日前にもアメリカで墜落事故を起こしたばかり。しかし米日両政府は、「(オスプレイは)軍事作戦で大きな成果を上げており、安全面でも高い評価を得ている」(米国防総省・カービー副報道官)、「淡々と計画通りに進める」(森本敏防衛相)と居直り、今週21～22日にも朝鮮半島南方沖で、米原子力空母ジョージ・ワシントンや海自護衛艦を動員した初の米日韓合同軍事演習に踏み出そうとしています。

沖縄の危機感と怒りは激しく高まっています。会場には市内の各町自治会、労働組合、市民、大学生、少年野球チームなど多くの人々が集まりました。労組交流センターと全学連は2000枚超のビラをまき、断固闘いを牽引しました。

集会発言では、宜野湾高校1年生の喜屋武雅さんが「2004年、普天間基地のヘリコプターが私たちの町、ここ宜野湾市に墜落しました。米軍はあの事故で何を学び何を反省したのでしょうか？ 今だからこそ、米軍と日本政府は、あの



へり墜落事故とこれまでにオスプレイが起こした事故を踏まえ、同じ過ちをくり返さないよう省みてほしい。オスプレイを宜野湾市に持ち込まないでください」と米日を弾劾。また沖縄国際大3年生の仲松隆志さんは、身内に基地労働者がいることの葛藤や復帰闘争時の団結力への願望を率直に語り、「われわれは一つになって闘おうとしています。ここにオスプレイはいらない。これ以上、地元を危険にさらすわけにはいきません。落ちてからでは遅いのです。守りましょう、この宜野湾市を。守りましょう、一つになって」と団結を訴えました。最後に、オスプレイ配備の中止、普天間早期閉鎖・返還、その時期の明確化を求める大会決議を拍手で採択し、団結ガンバローで闘いの決意をうち固めました。

反原発＝「フクシマの怒り」と闘いと一体で、日帝・野田政権の決定的破綻点として、基地・安保の矛盾が沖縄から再度爆発し火を噴こうとしています。決定的なのは、この中で青年・学生が動き始めていることです。全原発の廃炉、基地撤去、そして7・16反原発10万人集会の爆発へ、全国の仲間とともに闘おう！！

(全学連沖縄現地行動隊・内田)

沖縄タイムス 速報 オスプレイ配備「断固阻止」



普天間「早期返還」も要求

宜野湾市民大会で決意

『沖縄タイムス』号外